



よしだつうしん

吉田通信

第29号
【2017年2月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

◆変化を受け入れられるように◆

こんにちは！お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第29号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、ここ最近で一番びっくりした出来事と言え、何と言っても（12月5日にサービスが始まった）Amazonのダッシュボタンです。ライターよりも小さな大きさで、磁石で冷蔵庫などに張り付けられ、そのボタンを押すだけで、水や洗剤などの注文が確定し、最短でその日に届いてしまうサービス。私には到底想像もできなかった、それこそ映画の世界に出てくるような（まだまだ未来だと思っていた）ものが、もうすでに目の前にあり、世の中の変化のスピードには驚くばかりです。

思い起こせば、20年前には、今はガラケー（ガラパゴス携帯）と言われる携帯電話がポケベルに変わって普及しはじめたばかりで、スマホの「ス」の字も想像できませんでした。それが気がつけば皆スマホ…。また、現在、コミュニケーション手段として多くの人が活用しているLINEというものも、それができたのは、実はあの東日本大震災後のことです。

数年前には想像もできなかった商品やサービスが今、目の前にある。私がここで思うのは、Amazonのダッシュボタンしかり、スマホしかり、LINEしかり、それらを発案、開発した人たちというのは、世の中の新しいものを毛嫌いせずに使っていた人たちだと思うのです。

世の中が大きく変化していく中で、変えてはいけないもの、例えば地域の文化や伝統、仏事はもちろん四季の行事やお祭りなどは日本人のアイデンティティーとして大切にしなければなりません。お客様とのコミュニケーションもネットや通信ではなく、直接会って話すことにはかたまりません。

しかし全ての物、お客様の嗜好だったり少子高齢化などの社会構造は常に（目に見えなくても）



変化しており、事業において現状維持を目指すのは、衰退でしかありません。会社全体として現状維持を否定でき、変化を受け入れられるようになることが、より強い会社になるひとつの条件だと思います。これからも、変えてはいけないものと変えるべきものを見極めて、どんどん新しいものを取り入れ、変化（進化）していきたいと思います。

◆発行者コラム◆

今回も最後までお読みいただき、どうも有り難うございました。さて、今年の初詣でお賽銭を1,111円入れました。これまで100円、200円だったのですがそれでは神様もさすがに…と思い、やや奮発。そして、なんでも1番！ということで、1並びの1,111円にしました。また、ある人から聞いたのですが、ちゃんと名前と住所を言わないと神様もわからないということで、しっかり社名も住所も電話番号も書いてある会社の封筒に入れてお賽銭をしてきました（笑）。吉田竹史

■■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが090-3339-0424までご連絡をお願いいたします。■■

【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）
生年月日：昭和40年8月21日（O型）
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史